

「なんかこのクラス、いい感じ」「この先生となら一緒にがんばれそう」「明日も楽しみ！」
「ちょっとしたワザワザが人の心を動かし、元気にさせる」 そんな学級開きを

1. 心が躍る出会い ① ピカピカの教室で、気持ちよくスタート

- ・以前の教室は3月末にはきれいにして返すことが礼儀。 立つ鳥跡を濁さず
- ・心を込めて机や窓や床を磨く。 そうしながら自分の心も真っ白になっていく。
- ・黒板に何を書くのか？ そこに自分の名前が書いてあると、子どもは心が揺れる

2. 心が躍る出会い ② あいさつは、印象に残るものを

- ・赴任のあいさつ（朝礼台）→ 全校生の目を釘付けにするあいさつとは？
自分の得意を生かす 縄跳び、リコーダー、じゃんけん、かけっこ、
- ・教室でのあいさつ →私は「こんな学級をつくりたい」のメッセージを伝える
「おなかの力」「支え合う仲間」「命の使い方」「優しい人」「一生懸命」「男女仲よし」
- ・一人ひとりの名前は必ず呼んでやる。笑顔が一番。だっこ、握手、頭をなでなで。

3. 心が躍る出会い ③ 始業式（初日）に連絡帳に必ず一言書き入れておく

- ・連絡帳に一言書くか書かないかで大違い。忙しくても必ず書く。すると返事が来る。
ここからつながりと信頼が生まれてくる （プリクラ入りの一言は効果てき面）
- ・連絡帳は単なる連絡ノートではなく、保護者と担任のホットライン、交換日記のようなもの

4. 心が躍る出会い ④ 始業式（初日）から学級通信を発行する

- ・第1号は、自己紹介でもいい、そこから「出会い」「気づき」「広がり」がある
- ・第2号以降は、いろいろな出来事と子どもの名前が出てくる学級通信にしていく
- ・ボクは認められている、ワタシは役に立っている、私たちのクラスはなかなかいいぞ
- ・特に4月に出る学級通信には、クラスの進むべき方向が示されるような内容がいい
- ・B4で書くよりB5（A4）で書くと、号数も倍になる この方が効果はある
- ・1年間続いていくと学級通信で子どもは育つし、保護者からの信頼も得ることができる。

5. 心が躍る出会い ⑤ 始業式（初日）から遊ぶ！

- ・この先生は「遊んでくれる」→たとえ5分でも遊ぶことが大事、運動場で鬼ごっこ
「明日も学校に来るのが楽しみだ！」 ※面白室内ゲーム 拍手を1回！ 命令ゲーム

6. 心が躍る4月の学級づくり ① 教師の考え方を示す

- ・子どもは担任の先生の判断基準を試してくる 何に怒るのか何を褒めるのか
友だち関係、私語、宿題忘れ・・・ここまでなら許されるとか、これはダメとか
- ・去年はどうしていたの？と聞くよりも、このクラスはこういく、とはっきり言う
班の決め方、係の決め方、そうじ当番、給食当番・・・ 担任がぶれない態度で
- ・はじめが肝心 「人を傷つける言動はダメ」そう言ったなら、どんな小さなことでも見つけたら必ず注意する。それをこれぐらいはまあいいかと思つたと、そこから学級が崩れ始める

7. 心が躍る4月の学級づくり ② なんでも学級目標に返す

- ・学級目標はシンプルにつくる 子どもも先生も保護者も覚えやすい言葉で
- ・日々の学習や生活の中で、いつも「学級目標」を意識させていく それが学級の方向性

8. 心が躍る4月の学級づくり ③ とにかく遊ぶ

- ・休み時間はとにかく遊ぶ 全員を運動場に連れていくこと
- ・一番後ろから来る子（なかなか出ない子）⇒翌日はその子と手をつないで一番に連れ出す
- ・遊びの中から子どもの本音や関係性が見えてくる
- ・先生がガキ大将になって、固定された子どものよくない関係性を崩していく

9. 心が躍る4月の学級づくり ④ 授業で子どもをつなぐ

- ・わかりやすくてもおもしろい授業をつくる 授業は教師の生命線 授業こそ一番
- ・子ども同士で「教え合う時間」を取り入れる 支え合う算数、支え合う体育・・・

10. 心が躍る4月の学級づくり ⑤ 5分間家庭訪問

- ・「行事の家庭訪問」と「5分間家庭訪問」は、保護者からの信頼度がまったく違う
- ・4月中にどれだけ行けるか 教育は「今日行く」こと （※自転車の購入）
- ・しんどい子の家には特に足を運ぶ。「その子のいい話」をワザワザ宅配する意味

11. 心が躍る4月の学級づくり ⑥ 記録ノートをつくる

- ・ノートに名前の枠をつくり、一年間使っていく 些細なことでも気づいたことは何でも書く
- ・「あの子にはこんな所もあったのか」の発見がその子を伸ばす
- ・記憶より記録が大事 この記録が個人懇談会や通知表に生きてくる

12. 心が躍る4月の授業参観日 親子ともワクワクドキドキ

- ・子どもはお母さんにいいところを見せたいし、親はわが子の活躍する場面を見たい
- ・いつもより簡単な問題も可 みんなに発表させたい
- ・静かに考える授業よりも、活発でリズムのある授業展開にする
- ・教室には、保護者が入れるスペースをつくっておくこと 廊下で見させてはいけない

13. 心が躍る4月の学級懇談会 事前の広報、準備、内容、事後

- ・待っていてはダメ。学級通信で、電話で、5分間家庭訪問で「来てください」
- ・名札をつくる、お土産の資料をつくる（懇談会にはいつもお土産があるといい）
- ・歌で始まり自己紹介ゲーム「〇〇が大好きな△△です」授業と同様、導入がカギ
- ・話す内容は子どもも知っていることが望ましい。例えば学級目標のこと、休み時間のこと、授業のこと、先生のこと・・・ 最後に一人ひとりの「いいところ10秒メッセージ」
- ・PTA役員選出は難しい状況になっているからこそ、教師も一緒に考えることで信頼を得る
- ・懇談会に来た保護者には、翌日の連絡帳にお礼を一言書いておくことを忘れない

14. 4月は、死ぬほど長いといわれるくらいしんどい1カ月

- ・しんどいけど、いいスタートを切れば、あとは楽になる その苦勞を楽しもう